

# 奈良県奈良市ユニバーサルデザインマスタープラン(R2.3策定)

国土交通省  
東北運輸局

人口:354,721人(R2時点) 面積:276.94km<sup>2</sup>

## 基本情報

### <趣旨>

- ・国際文化観光都市として、観光客のほか市民を含めて、誰もが安全・安心に快適に移動し、暮らすことができるまちを目指し、ユニバーサル社会に向けた取組方針を提示。
- ・地域福祉計画とも連携させることによって、より福祉の観点を加味し、「共生社会」の実現を推し進める内容とした。

### <方針>

- 基本理念 「だれもがいきいきらし、気軽に出かけられる古都奈良  
～安全・安心で快適な生活と観光の共生を目指して～」
- 基本方針
  - ・ユニバーサルデザインの考え方に沿ったまちづくり
  - ・奈良の魅力を高めるバリアフリーの推進
  - ・みんなで取り組むバリアフリー社会の実現
  - ・思いやりの精神をはぐくむこころのバリアフリーの推進

## 作成するにあたって

### <作成のきっかけ>

- ・持続可能な開発目標 (SDGs) に基づいた、『だれひとり取り残さない!』をスローガンに、多様なつながりによる共生のまちの実現に向け、ハード・ソフト面のバリアフリーを推進する取組の一環として作成。

### <作成過程>

- ・奈良市移動等円滑化促進協議会等を合計3回開催し、R2.3に策定。
- ・作成当時はマスタープラン制度自体が創設されたばかりであることもあり、モデルとなるものがなかったことから国の示すガイドラインを熟読した。
- ・ユニバーサルデザインのまちづくりの推進にあたり、課題や問題、奈良市の目指す姿について、障害者団体や高齢者団体等の方々にヒアリングシート等を使い、調査を実施。
- ・調査の結果から、奈良市の目指す姿を「多様なつながりが生み出す共生のまち」に設定するとともに、それを実現するための3つの指針を設定。

### <パブリックコメント 意見数3件>

### <作成にあたり苦慮した点>

- ・奈良市の目指す姿(多様なつながりが生み出す共生のまち)や3つの指針(①ハード・ソフトの一体的推進 ②持続可能なまちづくり ③こころのバリアフリーを実現するひとづくり)、生活関連施設とそれに準じる施設の設定に時間を割いた。
- ・1年間の策定期間におけるスケジュール管理。

## 移動等円滑化促進地区

- JR奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区
- 大和西大寺駅周辺地区
- JR新駅(八条・大安寺)周辺地区
- ・選定理由

- ①JR奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区は、既存のバリアフリー基本構想(H26.3策定)における重点整備地区と重なる形で設定。
- ②大和西大寺駅は、鉄道の乗換機能を有しており、駅南北自由通路や駅周辺整備平城宮跡の最寄り駅であることを考慮。
- ③JR新駅およびその周辺は、(仮称)奈良ICと隣接し、新たな地域拠点の形成を目指し、バリアフリー化のモデル地区となりえること。

## 策定後の動き

- ・自治体としてバリアフリーの意識向上が図れた。
- ・会議を毎年度開催し、バリアフリー基本構想の特定事業計画の進捗状況報告も含め、意見交換を行っている。
- ・重要な観光資源となっている寺院・神社のバリアフリー事例集を各事業者と協力をしていながら適宜更新し、情報を発信する。

### <これから作成する市町村へのアドバイス>

- ・福祉部が作成を行うことでより福祉的な観点を加味させられた一方、道路や交通等実務的な点では苦慮した。所管の検討を行う際には、総合的に判断する必要がある。